

サカティンクス株式会社

2021年12月期 第2四半期
決算説明会

2021年8月30日

1. 2021年12月期 第2四半期実績

2. 2021年12月期 通期予想と今後の計画

3. 持続的成長に向けた取り組み

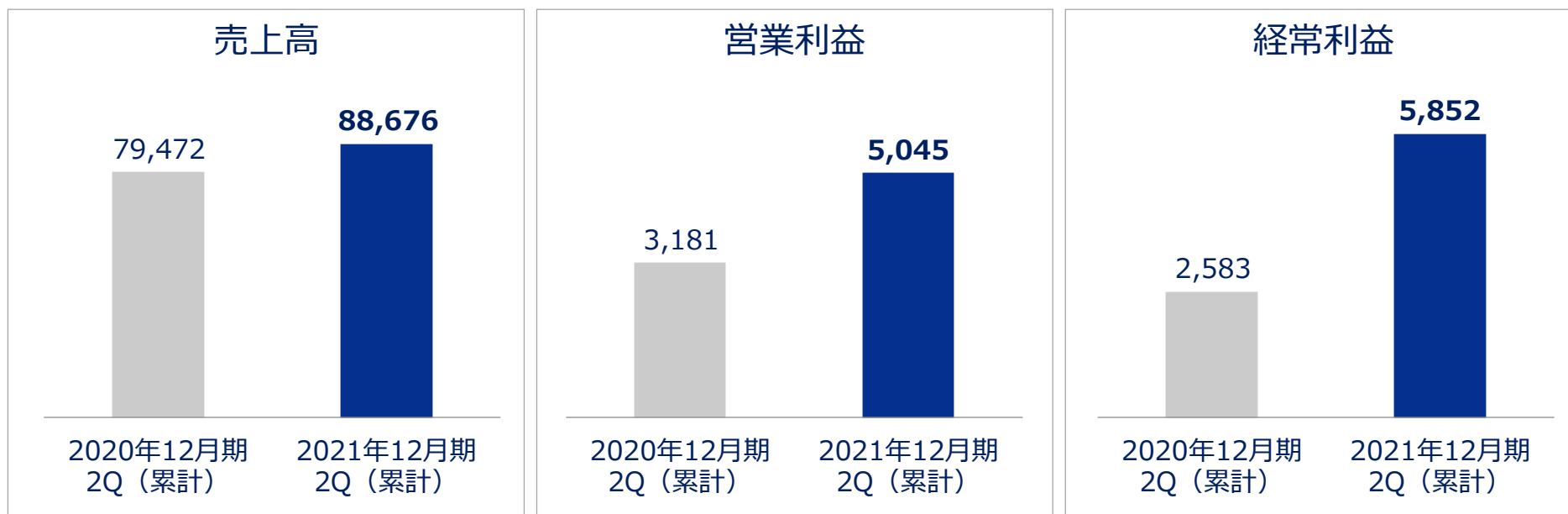
4. 配当金について

本資料に記載されている将来の計画数値、種々の施策は2021年8月30日現在で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものでございますが、今後の経済情勢、事業環境等により変化することもあり、計画数値、種々の施策を確約したり、保証するものではありません。

1. 2021年12月期 第2四半期実績

1-1 第2四半期（累計）連結実績

(単位：百万円)

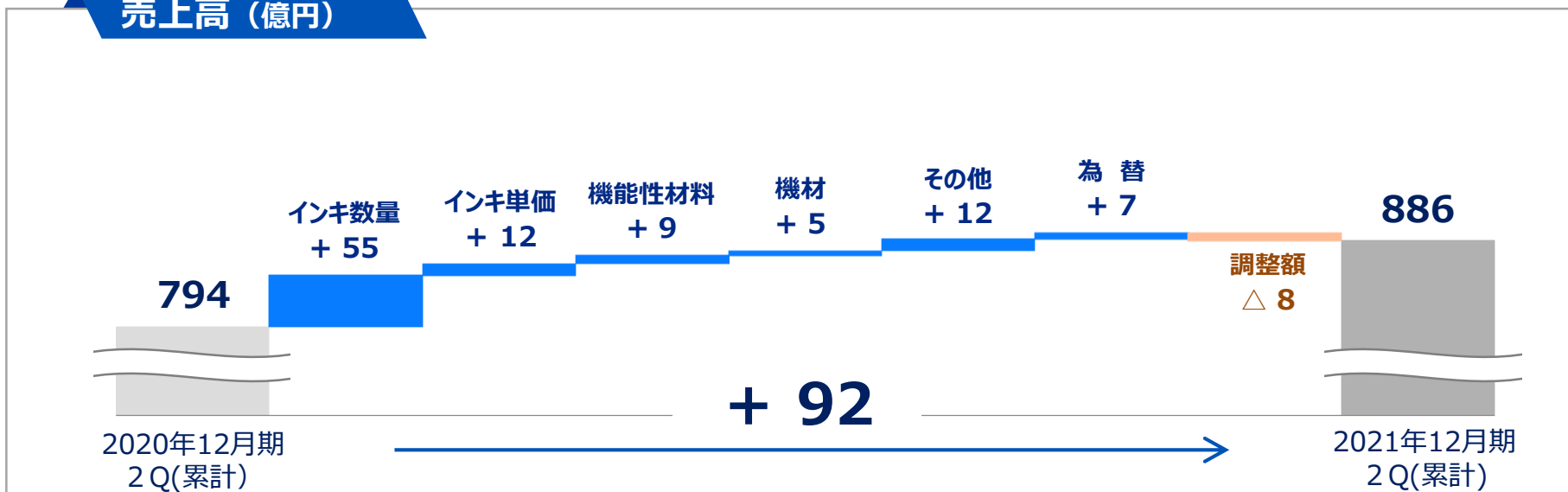


(単位：百万円)

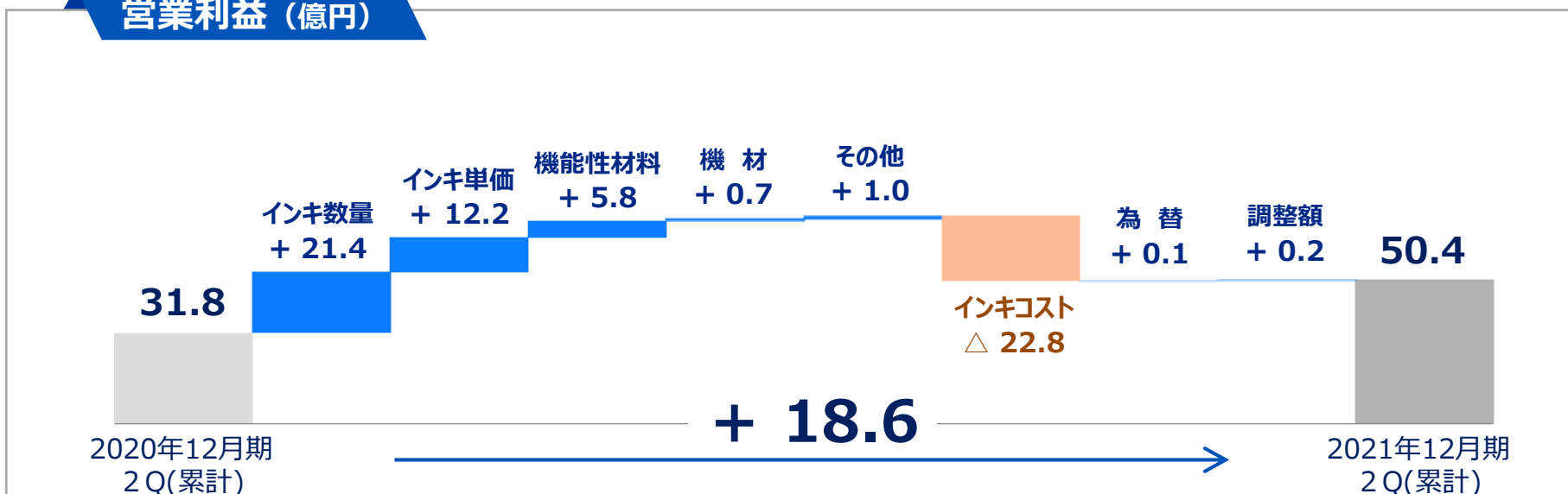
	2020年12月期 2Q (累計)		2021年12月期 2Q (累計)					
	金額	売上高比率	金額	売上高比率	増減額	増減率	為替換算影響額	為替影響排除後増減率
売上高	79,472		88,676		9,204	11.6%	640	10.8%
営業利益	3,181	4.0%	5,045	5.7%	1,863	58.6%	6	58.4%
経常利益	2,583	3.3%	5,852	6.6%	3,268	126.5%	4	126.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,497	1.9%	4,039	4.6%	2,541	169.7%	5	169.3%
期中レート(USドル)	108.27円		107.69円					

1-2 第2四半期（累計）前年同期比 要因別増減

売上高（億円）

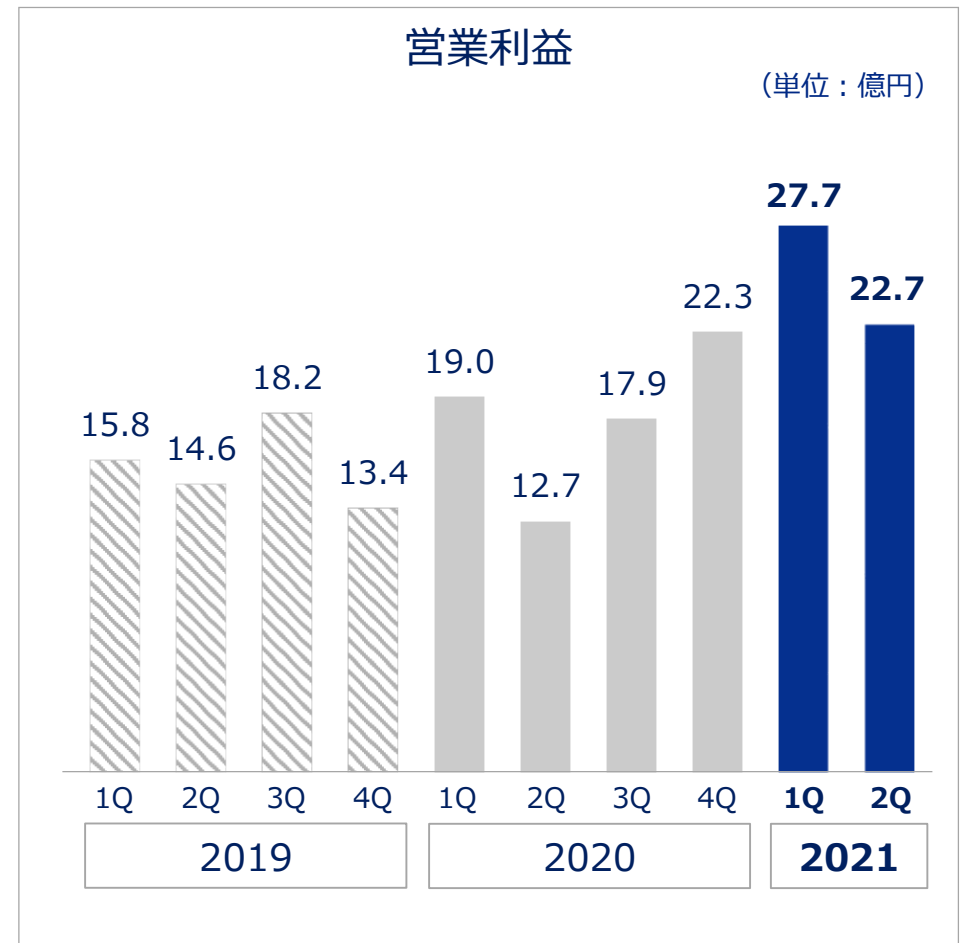
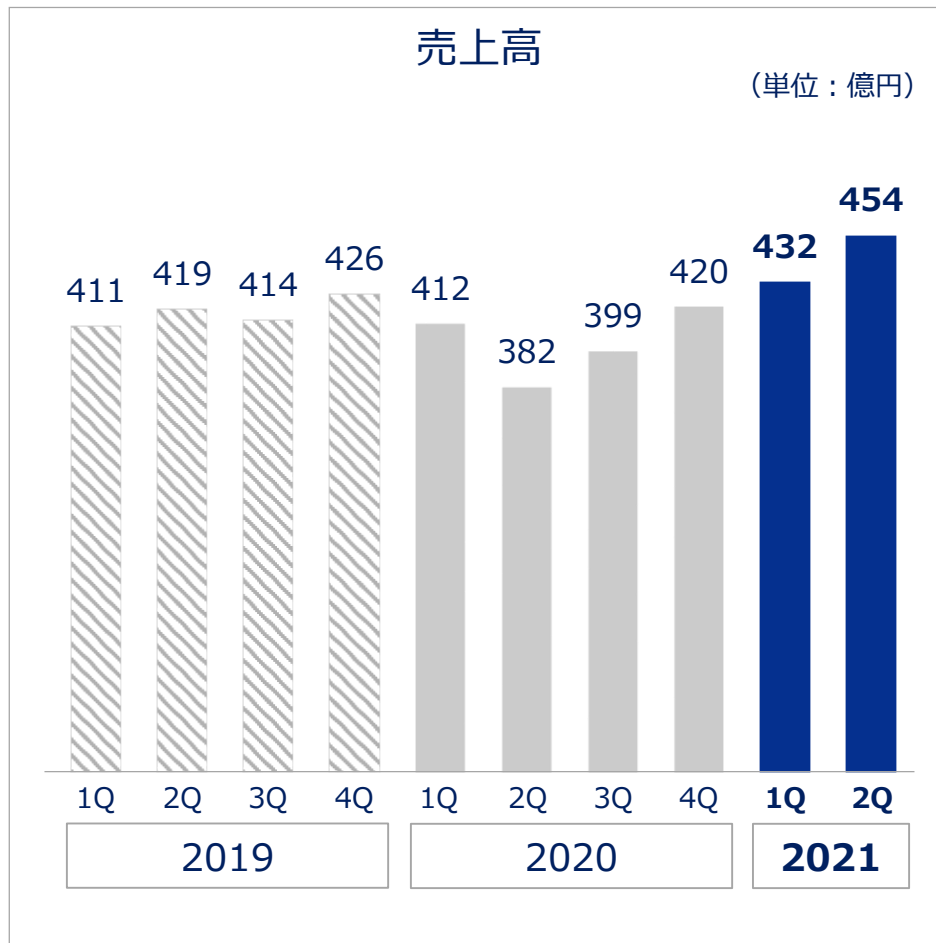


営業利益（億円）



1-3 四半期別 売上高・営業利益

中国や欧米の経済再開に伴ない売上は徐々に回復しつつあるが、調達環境の悪化や材料価格・輸送コストの上昇により営業利益は2Qに入り減少



1-4 第2四半期（累計）セグメント別 売上高・営業利益

（単位：百万円）

	売上高			営業利益		
	2020年12月期 2Q（累計）	2021年12月期 2Q（累計）	増減額	2020年12月期 2Q（累計）	2021年12月期 2Q（累計）	増減額
印刷インキ・機材（日本）	23,802	24,439	637	* 503	824	321
印刷インキ（アジア）	15,365	18,135	2,770	861	1,221	360
印刷インキ（米州）	24,868	26,352	1,483	1,481	1,646	164
印刷インキ（欧州）	5,146	8,003	2,856	△254	47	302
機能性材料	5,744	6,754	1,010	* 333	927	593
報告セグメント計	74,927	83,685	8,758	2,924	4,667	1,742
その他	8,628	9,861	1,233	127	224	96
調整額	△4,083	△ 4,871	△787	* 129	153	24
合計	79,472	88,676	9,204	3,181	5,045	1,863

利益プラス要因

- 拡販や販売数量の回復（米州・欧州・アジア・機能性）
- 価格改定（米州・アジア）
- 販売管理費・諸経費の低減（日本）

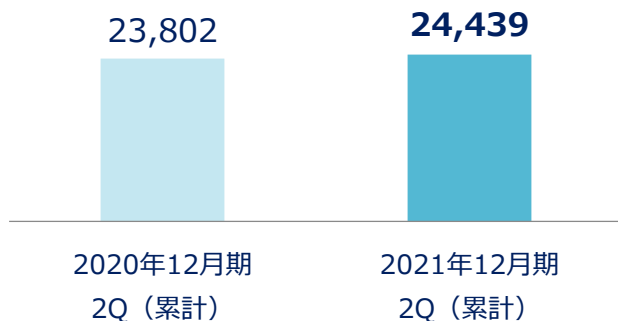
利益マイナス要因

- 原材料価格の上昇
- 物流コストの増加
- イベント・広告などの減少による情報メディア関連の低迷

* 2020年12月期のセグメント情報は、2021年12月期の全社費用配分基準見直しに従い変更・作成しております。

1-5 第2四半期（累計）印刷インキ・機材（日本）

売上高（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前年同期比	637	2.7

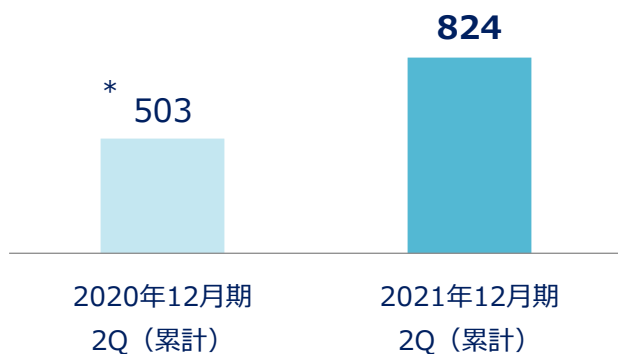
+

- 感染症の影響による内食需要（軟包材用グラビア）
- 飲食の宅配需要、家飲み需要の増加（段ボール用フレキシ）
- 機械販売の増加

-

- 広告需要減少・デジタル化進展（新聞）
- レジャー消費減少やコンビニの日配品不振
(軟包材用グラビア)

営業利益（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前年同期比	321	63.9

* 2020年12月期のセグメント情報は、2021年12月期の全社費用配分基準見直しに従い変更・作成しております。

+

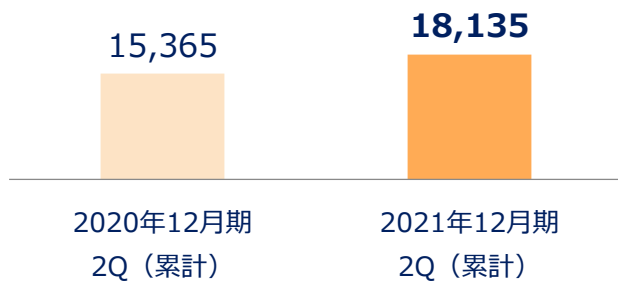
- パッケージ関連が堅調
- 環境対応の機能性ニス
- コスト削減（販管費）
- 機械販売の増加

-

- 広告需要減少・デジタル化進展（新聞）
- レジャー消費減少やコンビニ日配品不振
(軟包材用グラビア)

1-6 第2四半期（累計）印刷インキ（アジア）

売上高（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前年同期比	2,770	18.0
為替影響排除後	2,454	16.0

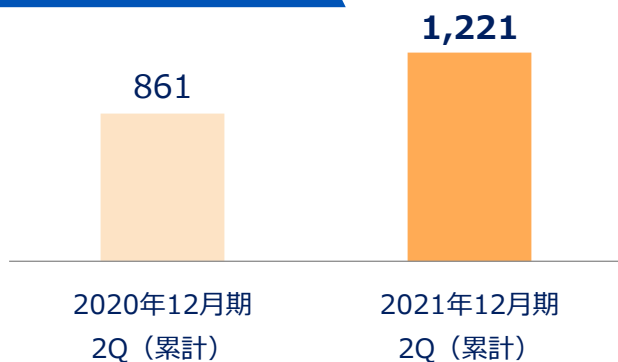
+

- 経済活動再開に伴う数量回復（軟包材用グラビア）
- 中国の経済回復（オフセット、メタル）
- 販売価格の改定（軟包材用グラビア）

-

- コロナ影響による新聞販売不振（インド）
- 感染症の再拡大による経済悪化
(インド、インドネシアなど)

営業利益（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前年同期比	360	41.9
為替影響排除後	340	39.5

+

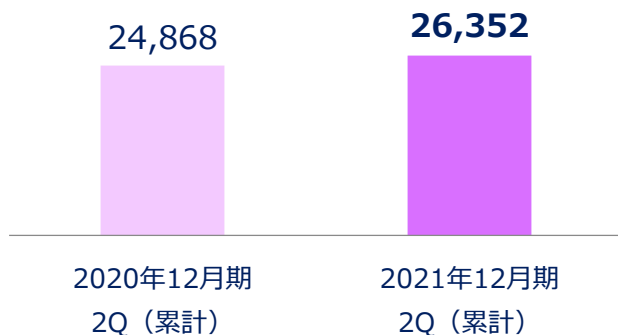
- 軟包材用グラビアが回復・拡販
- 価格改定（軟包材グラビア）

-

- コロナ影響による新聞販売不振（インド）
- 原材料価格の高騰

1-7 第2四半期（累計）印刷インキ（米州）

売上高（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前年同期比	1,483	6.0
為替影響排除後	1,770	7.1

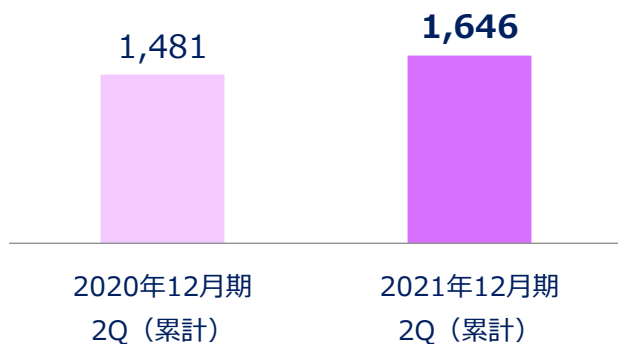
+

- パッケージ関連の拡販
（フィルム用フレキシ・グラビア）
（紙器用途UVオフセット）
- アルミ缶需要の高まり（缶用メタル）

-

- 広告需要減少・デジタル化進展（オフセット）

営業利益（百万円）



	増減額（百万円）	増減率（%）
前年同期比	164	11.1
為替影響排除後	198	13.4

+

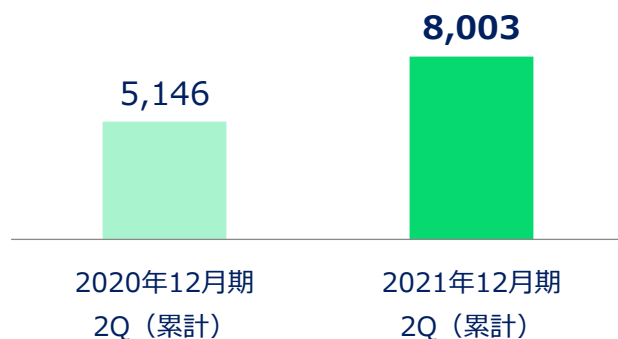
- パッケージ関連の拡販
（フィルム用フレキシ・グラビア）
（紙器用途UVオフセット）
- 価格改定（フィルム用フレキシ・グラビア）
- コスト削減（販管費）

-

- 原材料価格の上昇
- 物流コスト上昇

1-8 第2四半期（累計）印刷インキ（欧州）

売上高（百万円）

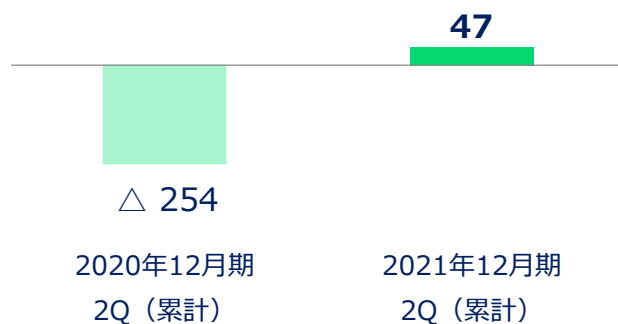


+

- アルミ缶需要の増加に伴う拡販（缶用メタル）
- パッケージ関連の拡販
（フィルム用フレキソ・グラビア）
（紙器用途UVオフセット）
- 新規連結（ドイツ）

	増減額（百万円）	増減率（%）
前年同期比	2,856	55.5
為替影響排除後	2,370	46.1

営業利益（百万円）



+

- アルミ缶需要の増加に伴う拡販（缶用メタル）
- パッケージ関連の拡販
（フィルム用フレキソ・グラビア）
（紙器用途UVオフセット）
- 新規連結（ドイツ）
- 組織再編と生産能力増強によるコスト削減

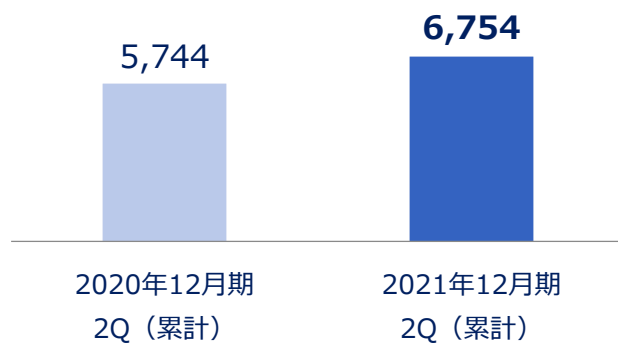
-

- 原材料価格の上昇

	増減額（百万円）	増減率（%）
前年同期比	302	-
為替影響排除後	291	-

1-9 第2四半期（累計）機能性材料

売上高（百万円）



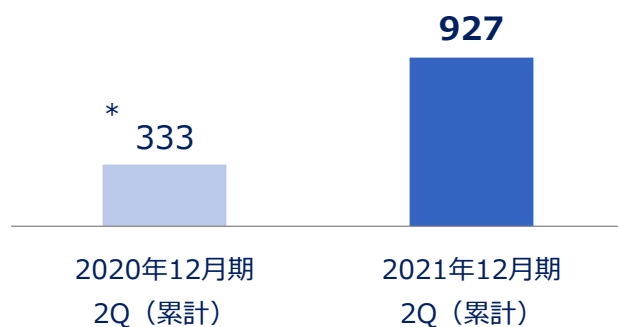
+

- 広告需要の回復、欧米での拡販（インクジェットインキ）
- ディスプレイ市場の好況（顔料分散液）
- オフィス需要の回復（トナー）

	増減額（百万円）	増減率（%）
前年同期比	1,010	17.6
為替影響排除後	887	15.4

* 2020年12月期のセグメント情報は、2021年12月期の全社費用配分基準見直しに従い変更・作成しております。

営業利益（百万円）



+

- 広告需要の回復、欧米での拡販（インクジェットインキ）
- オフィス需要の回復（トナー）
- 欧州事業のコスト改善（高付加価値製品の展開）

	増減額（百万円）	増減率（%）
前年同期比	593	177.7
為替影響排除後	583	174.6

1-10 第2四半期（累計） 連結貸借対照表の主な増減・連結キャッシュフロー計算書

◆ 連結貸借対照表の主な増減

(単位：億円)

科目	2020年 12月31日現在	2021年 6月30日現在	増減
現金・預金	124	121	△2
売上債権	430	473	42
流動資産	776	859	83
固定資産	676	703	27
資産合計	1,452	1,562	110
仕入債務	276	302	25
短期借入金	73	75	2
流動負債	423	454	△31
長期借入金	97	82	△14
固定負債	215	218	2
負債合計	638	672	33
自己資本 ※	763	834	71
非支配株主持分	50	55	5
純資産合計	814	890	76
負債・純資産合計	1,452	1,562	110
期末レート (USD/円)	103.50円	110.58円	-

借入金合計

2020年12月末 170億円

2021年6月末 158億円

自己資本比率

2020年12月末 52.6%

2021年6月末 53.4%

※ 自己資本

= 株主資本合計 + その他の包括利益累計額合計

◆ 連結キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

科目	期別	2020年12月期 2Q (累計) (2020.1.1~6.30)	2021年12月期 2Q (累計) (2021.1.1~6.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,623	2,669
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 4,286	△ 2,388
財務活動によるキャッシュ・フロー		5,064	△ 1,692
現金及び現金同等物の四半期末残高		12,263	11,352

2. 2021年12月期 通期予想と今後の計画

2-1 通期業績予想

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期 8/11修正予想			
	金額	金額	金額	前年比		当初(2/12)予想比 増減額
売上高	167,237	161,507	179,000	17,493	10.8%	9,000
営業利益	6,225	7,212	9,000	1,788	24.8%	1,000
経常利益	7,319	7,789	10,300	2,511	32.2%	1,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,114	5,275	7,300	2,025	38.4%	900

2-2 原材料コスト上昇の背景と利益影響

背景

景気回復に伴う原油・ナフサをはじめとした諸材料の価格高騰
原材料メーカーの事故に伴う供給量減少
アメリカ南部の大寒波による石化プラントなどの稼働停止
各国での環境規制強化による対策コストの上昇
世界的なコンテナ不足と海上輸送費の高騰

材料コストの上昇
物流コストの上昇

利益影響

(単位：億円)

上半期	当初 予想比		下半期（予想）	当初 予想比	通期 当初 予想比
原材料コスト上昇	△11	+	原材料コスト上昇	△27	△38
価格改定	+10		価格改定	+21	+31

2-3 セグメント別 通期業績予想

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2020年12月期	2021年12月期 予想	前年比	2020年12月期	2021年12月期 予想	前年比
印刷インキ・機材（日本）	48,071	49,893	3.8%	983	1,554	58.1%
印刷インキ（アジア）	32,597	37,540	15.2%	2,451	2,570	4.9%
印刷インキ（米州）	49,510	52,685	6.4%	2,953	2,691	△8.9%
印刷インキ（欧州）	10,164	15,962	57.0%	△432	3	-
機能性材料	11,844	13,492	13.9%	481	1,587	229.9%
報告セグメント計	152,187	169,571	11.4%	6,437	8,405	30.6%
その他	16,984	19,170	12.9%	156	338	116.7%
調整額	△7,664	△ 9,742	-	618	257	-
合計	161,507	179,000	10.8%	7,212	9,000	24.8%

利益プラス要因

- パッケージ用インキの拡販（米州・欧州）
- インクジェットインキ・トナーの回復（機能性）
- 販売価格の改定（印刷インキ）
- コスト削減（販管費の低減、欧州の生産体制再構築）

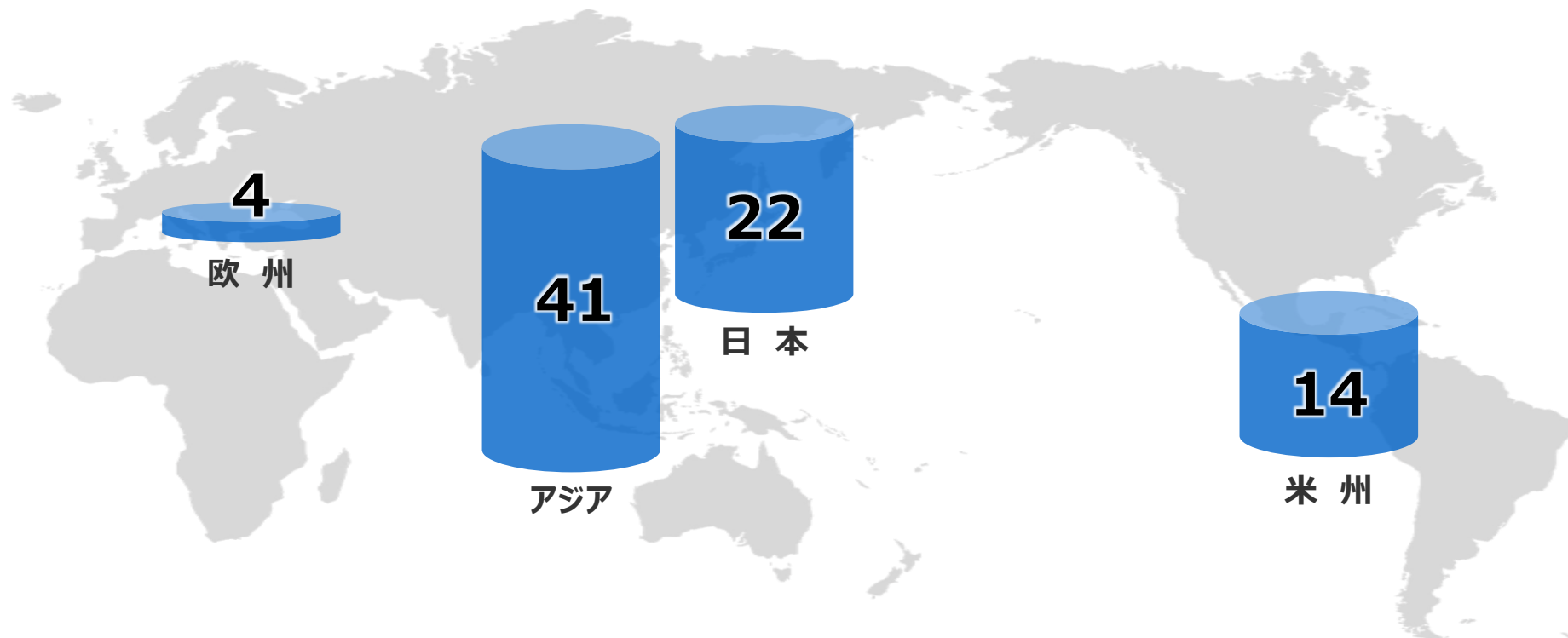
利益マイナス要因

- 原材料価格や物流費の高騰
- イベント・広告などの減少による情報メディア関連の低迷
- 感染症拡大による経済低迷（日本、アジア）

2-4 地域別設備投資予定額（非連結含む）

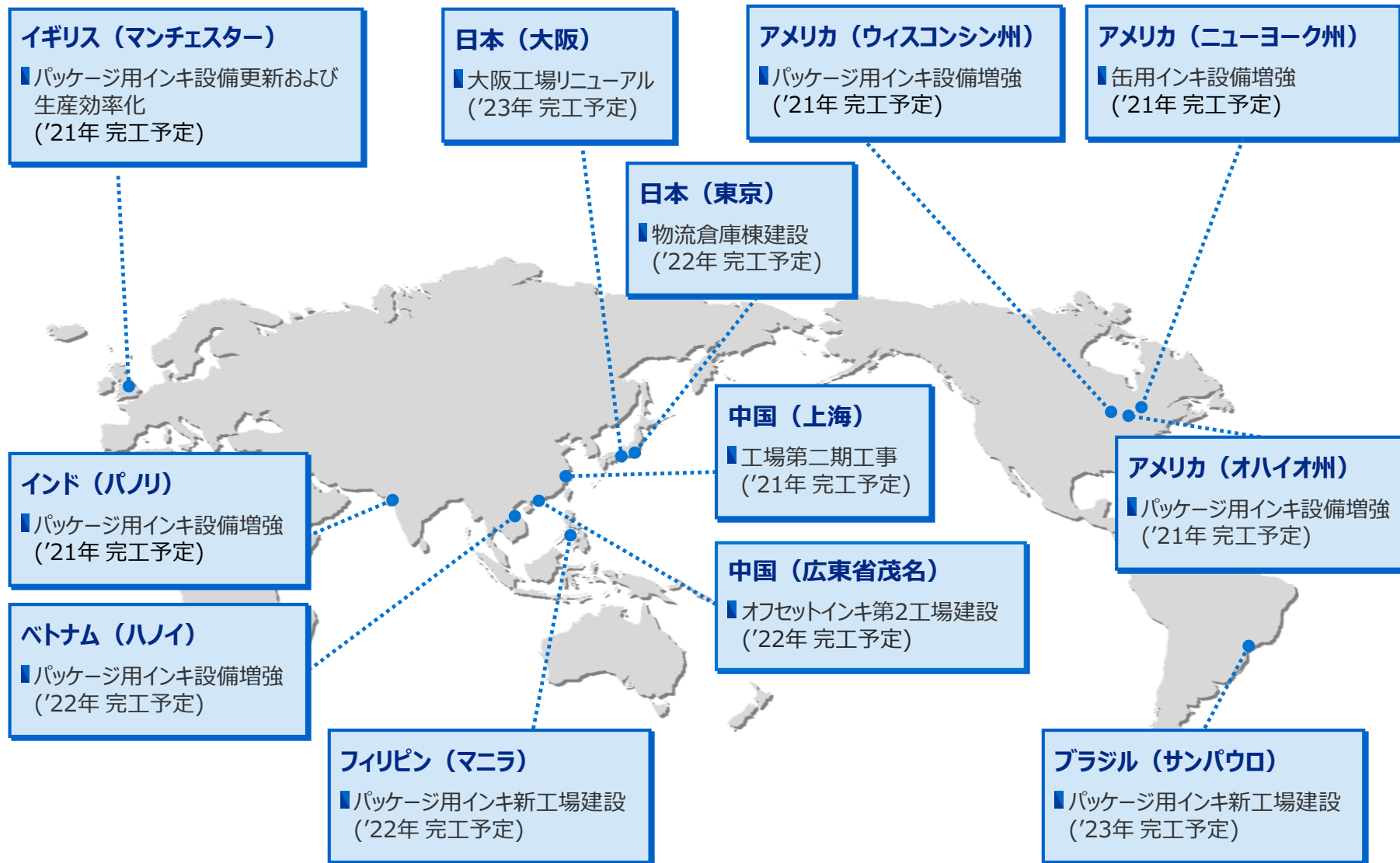
2021年12月期

（単位：億円）



地域	日本	アジア	米州	欧州	設備投資計	戦略的投資	合計	減価償却費
中計3年累計	49	56	38	7	150	150	300	155

2-5 設備投資計画



3. 持続的成長に向けた取り組み

3-1 サステナビリティ目標と進捗

E: 環境

環境配慮型製品比率の向上

▶ ボタニカルインキ

植物由来成分を含有し、CO2排出抑制に貢献
ボタニカル度の向上に向けて、研究開発を推進

生産活動における環境負荷の低減

▶ 太陽光発電導入と エネルギー消費量削減

太陽光発電システム導入 **2030目標**

GHG30%削減 ※
TCFDへの早期賛同とリスク開示

>>> 進捗 >>>

▶ GHG削減目標改善

2050年を実質ゼロとし、
2030年削減目標を50%に引き上げ

▶ TCFDへの賛同と取り組み推進

推進体制の構築と、気候変動の
リスク・機会とシナリオ分析の検討

S: 社会

働きやすい労働環境

▶ 多様な勤務制度

テレワーク制度の導入
ワークライフバランスの推進



▶ 健康経営推進

サカティンクス健康経営宣言

2030目標

国内女性管理職比率15%以上
育休取得率100%

>>> 進捗 >>>

▶ 女性採用率の向上

2022年卒採用にて
新卒女性採用30%以上を達成

▶ 健康経営優良法人2021認定

健康経営推進の客観的指標として
認定を取得

G: ガバナンス

コーポレートガバナンス強化

▶ 役員構成や経営会議の多様化

社外取締役・女性取締役の参画
海外現地法人役員との戦略会議

▶ 内部統制システムの整備



2030目標

政策保有株式の縮減
リスクマネジメントの強化

>>> 進捗 >>>

▶ ガバナンス体制の継続強化

- ・取締役会の実効性の継続的評価と
それに基づくガバナンス体制の見直し
- ・リスクの再評価と
リスクマネジメントの強化
- ・コンプライアンス意識の徹底

3-2 新規事業の取り組み（事例紹介）

3社協業によるプリントエレクトロニクスの社会実装

「IHリフロー技術」でこれまで不可能だったフィルム、樹脂、ガラス上のはんだ付けが可能に

さまざまな製品の材料・部品・実装方法等の選択肢が拡大

サカタインクス株式会社



SAKATA INX...
Visual Communication Technology

素材
material

配線・接合等材料

ワンダーフューチャーコーポレーション



WFC

プロセス
process

IHリフロー技術

シークス株式会社



SiX
We create.

量産
production

基板実装

フレキシブルサイネージ

コネクテッドカー

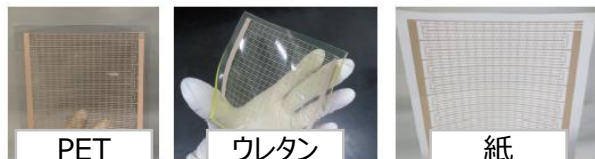
IoT・センサー

ウェアラブルデバイス

印刷配線材料

はんだ付け可能な銅系配線材料

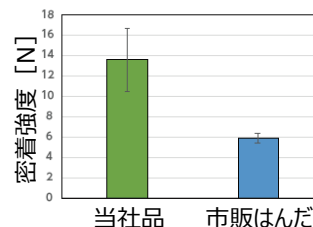
フィルムや樹脂、紙といったフレキシブルな低耐熱基材に対応し、IHリフローによる加熱が可能な配線材料



接合材料

速硬化Ni系導電性接着剤

低温・短時間で焼成可能で、IHリフローによる接合も可能な接着剤。配線への接合強度は市販品以上



絶縁・封止材料

透明絶縁材料

優れた電気特性をもち、フォトレジストが不要な、絶縁膜のダイレクトパターンニングが可能



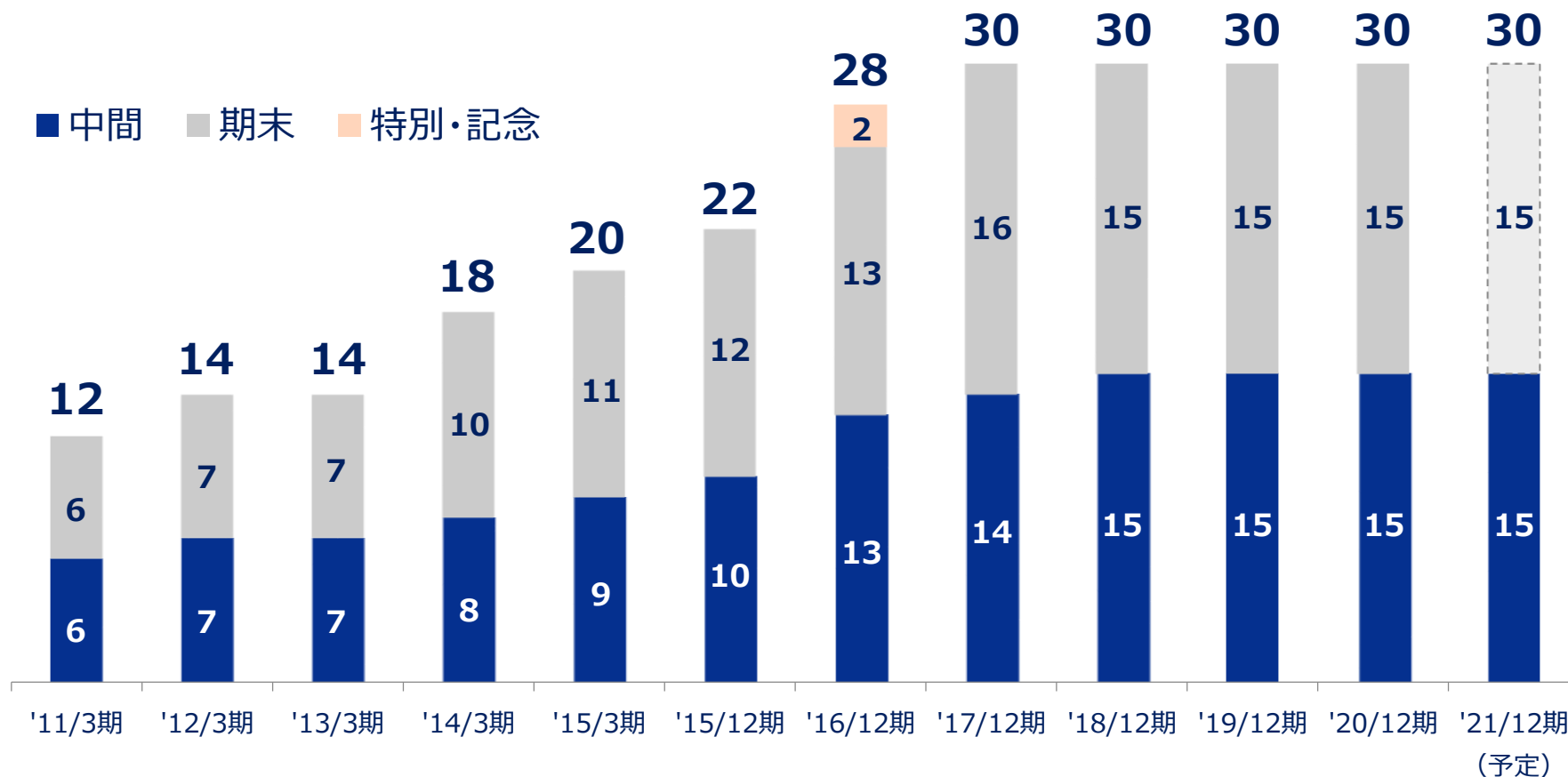
4. 配当金について

4-1 配当金の推移（1株当たり）

<配当方針>

- 安定的な利益還元
- 連結配当性向20%前後～30%前後

(単位：円)



SAKATA INX...

Visual Communication Technology



<お問い合わせ先>

サカタインクス株式会社 広報・I R室

電話 03-5689-6601

メール inx-prir@inx.co.jp